

ホームページアドレス
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>
 ☎=問い合わせ先
 ◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111
 ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎21111
 ◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111
 ◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111

募集

パソコン講座

《昼間3級受験対策コース》
 ●日時 10月12日(水)～26日(水)
 (毎週月・水・金曜日)／午前9時～午後4時
 ●申込受付日時 10月5日(水)／午前9時～午後6時
 ●会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
 ●受講料 1万円
 ●定員 20人(定員を超えた場合は受付日の午後6時から抽選)
 ●申込方法 受付時間内に申し込み後、午後6時に受講料

防衛大学校生等

防衛大学校、防衛医科大学校、看護学生を募集します。
 ●第一次試験日 ▽防衛大学校 11月5日(土)・6日(日) ▽防衛医科大学校 10月29日(土)・30日(日) ▽看護学生 10月22日(土)
 ※受験方法、申込受付期間など、詳しくはお問い合わせください。
 ④自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所 ☎240372

市循環バス車内広告

●掲載車両 南湖公園先回り(ノンストップバス)
 ●枠数 12か所
 ●規格 縦297mm×横420mm(A3サイズ)
 ●掲載期間 10月～平成24年9月(12か月間)
 ●掲載料 1,000円(1か月) ※広告制作費は、申込者の負担となります。
 ●募集開始日 9月5日(月)から ※募集枠に達し次第締め

図書館ボランティア

●活動期間 10月1日(土)～平成24年3月31日(土)
 ●内容 おはなし会での音読、本の整理、ハンディキャップサービスなど
 ●申込方法 市立図書館で配布する申込書に記入し、提出してください。
 ●申し込み・問い合わせ先 市立図書館 ☎233250

案内

高齢者サロンオープン

震災のため延期していた3か所のサロンが秋から順次オープンします。オープン予定のサロンは「あつたかセンター」「新白河(高山コミュニティセンター)」「あつたかセンター小田川(小田川集会所)」「さわやかサロンあかさか(新赤坂

敬老会

●開催日 10月12日(水)
 ●会場・時間 ▽白河地域 中央体育館(北中川原)／午後1時30分から ▽表郷地域 表郷体育館(表郷番沢)／午前10時から ▽大信地域 大信農村環境改善センター(大信町屋)／午前10時から ▽東地域 東文化センター(東釜子)／午前10時から
 ●対象 75歳以上(昭和11年9月1日までに生まれた方)
 ●贈呈品 祝金2,000円(商品券)、記念品(長寿ようかん)
 ※今回の震災の影響により、開催日・白河地域の会場が変更となりましたので、お間違えのないようお願いいたします。
 ④本庁舎高齢福祉課 内2722 / 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2114 大信 ☎462114 東 ☎342116

公民館発表会

中央公民館を利用しているクラブが、日ごろの成果を発表します。皆さんのご来場をお待ちしています。
 ●日時 10月16日(日)／午後1時開演
 ●会場 文化センター(中田)
 ●入場料 無料
 ④中央公民館 ☎233810

福島大学白河サテライト教室講座

●日時・内容 ▽10月15日(土)「原子力発電と地域」 ▽22日

国民健康保険証の更新

現在、皆さんが使用している国民健康保険証の有効期限は9月30日のため、10月1日以降は使用できません。このため、新しい保険証を9月下旬に送付します。

遠隔地の保険証について

遠隔地の保険証も9月30日が有効期限となっていますので、学生の方で市外に住所のある方は、在学証明書と新し

い保険証を持参して手続きをしてください。なお、4月以降に申請した方で、申請時に在学証明書を添付された方は添付の必要はありません。
 ※左表のような場合には、届出が必要です。

	届出が必要な場合	持参するもの
国保に加入	ほかの市町村から転入したとき	
	ほかの健康保険をやめるとき	健保をやめた証明書
	子どもが生まれたとき	保険証
国保をやめる	ほかの市町村へ転出したとき	保険証
	ほかの健康保険に加入したとき	国保と健保の保険証
その他	加入者が死亡したとき	保険証
	市内の住所が変わったとき	保険証
	世帯主が変わったとき	保険証
	世帯を分けたり一緒になったとき	保険証
	保険証を紛失したとき	本人を証明するもの
	退職者医療制度に該当するとき	保険証・年金証書

証明書自動交付機一時停止

本庁舎・各庁舎に設置している「証明書自動交付機」がシステム点検のため停止しま

しらかわスポーツフェスティバル

●日時 10月10日(祝)／午前10時～午後2時30分(午前9時30分受付開始)
 ●会場 中央体育館(北中川原)
 ●参加料 無料
 ●種目 ストラックアウト、輪投げ、体力測定など
 《ファミリースポーツデー》
 10月10日の体育の日は、次の施設が無料で利用できます。
 ▽国体記念体育館 ▽しらかわの森スポーツ公園テニスコート ▽各市民体育館 ▽表郷総合運動公園体育館 ▽大信総合運動公園トレーニング

さわやか白河表郷まつり

●日時 9月25日(日)／午前11時～午後6時 ※雨天決行
 ●会場 表郷総合運動公園(表郷番沢)
 ④表郷庁舎事業課 ☎24785

案内

痛風予防講演会

市では、今年度から特定健診の検査項目に「尿酸値」を加えました。健診の結果、高尿酸値だった方や痛風予防に興味関心のある方を対象に医師の講演会を開催します。

- 日時 10月5日(水)／午後7時から
- 会場 中央保健センター(北中川原)
- 講師 白河病院内科部長 和久昌幸医師
- 申込期限 9月30日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎健康増進課 ☎2711

社会生活基本調査

総務省統計局では、国民の社会生活の実態を調査し、様々な政策立案に役立てるための基礎資料を得るために、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。10月上旬から中旬にかけて、調査員が調

査対象世帯に伺いますので、調査にご協力をお願いします。

- 県統計調査課 ☎024-521-7145

自動車税の定期課税

県では、東日本大震災に伴い延期していた、平成23年度自動車税の定期課税を原子力災害区域に係る一部市町村を除き実施します。

- 納税通知書の発付日 9月7日(水)
- 納期限 10月31日(月)

※なお、この間に車検有効期限が満了する自動車については、平成22年度の納税証明書(10月30日(日)まで有効)で車検を更新することができます。

- 県南地方振興局県税部 ☎1519

思春期青年期講演会

- 日時 9月26日(月)／午後1時30分から
- 会場 サンフレッシュ白河(久田野)
- 内容 ▼講演「思春期青年期の心に寄り添うために」
- ▼講師 東北福祉大学総合福

社会学部福祉心理学科 渡部純夫教授

- 申込期限 9月20日(火)まで
- 申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所障がい者支援チーム ☎25649

高速道路震災復旧工事

NEXCO東日本では、東日本大震災で被災した高速道路の本復旧工事を1年半に渡って実施します。

- 日にち 9月5日(月)～平成24年12月
- 規制 昼夜連続車線規制(土・日曜日、連休は工事休止)
- 区間 「ドラぷら」(<http://www.driveplaza.com/>)で検索願います。
- NEXCO東日本お客様センター ☎0570-024-024

まちかど伝言板

緊急講演会

- 日時 9月10日(土)／午後3時30分から

無料ヨガ体験

- 日時 9月11日(日)／午前10時15分～11時30分
- 会場 マイタウン白河3階和室(本町)

設立記念式典・講演会

- 日時 9月10日(土)／午後1時30分から
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
- 内容 ①記念式典 ②基調講演 ▼講演「災害後の心と体の健康」 ▼講師 堂本あき子氏(前千葉県知事) ③交流会
- 社会福祉法人こころん ☎1115

《動物愛護週間》

9月20日から26日までは「動物愛護週間」です。近年、ペットを飼う家庭が増えています。それに伴って、動物虐待や遺棄などのトラブルや、犬の散歩時にふんの置き去り、ペットの放し飼い、ペットの鳴き声に迷惑しているなど、飼い主のモラルが問われるペットに関する苦情が増えているのが現状です。ふんの置き去りは「白河市つづくしいふるさとづくり条例」で禁止されています。違反者には氏名等公表の罰則があります。この機会に動物とのふれあいや正しいペットの飼い方について見つめ直しましょう。

《犬の登録と狂犬病予防注射》

生後91日以上の子犬は、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射を実施することが法律で定められています。そのため、飼い犬の登録を行っていない場合は、本庁舎生活環境課または各庁舎市民福祉課で必ず登録をしてください。

また、狂犬病予防注射を受けていない場合は、最寄りの動物病院で受け、本庁舎生活環境課または各庁舎市民福祉課で注射済票の交付を受けてください。

●本庁舎生活環境課 内2165／各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2113 大信 ☎3974 東 ☎2113



市長の手裡え帖

『図書館はオアシス』

白河市長 鈴木 和夫

震災で気分が晴れない中、新図書館のオープンが明るい話題となっています。知識を求め、問題を解決するために本を探し、資料を調べる、というのが図書館の本来の役割です。一方で、図書館は単に本を保管し貸し出す「お役所」で、利用者は一部の本好きな人や学生。重々しい建物、せき払いもはばかる静寂の空間、との堅いイメージがありました。しかし今、図書館は大きく変わっています。

まず、本を読みに来るだけの場所ではないことです。人は誰でも心安らぐ「居場所」を持っていきます。お城や川端、喫茶店や居酒屋のような、ぼーっとしたり、居眠りしたりできる場。そうした居場所のひとつになれないものか。あるいは、悩みを抱えたり、進路を決めかねているとき、ふらりと寄って、深呼吸できるような空間になれないかと思っています。アメリカでは「自殺したくなったら図書館へ行こう」がスローガンになっています。図書館は「生きていく力」を受け取る場所です。どうか心のオアシスの場として利用してください。

もうひとつは、より良く生き、より考えるための場所になることです。知識や教養は、人として心豊かに生きるうえで栄養剤。同時に人との関わりの中で暮

らす私たちには、社会貢献や地域活動をするうえで欠かせない。図書館は生きた知、を求める交差点になります。元気で長寿を保つには、健康管理が大事。治療から予防へ、食生活・運動・ストレス解消に役立つ本を見つめる。学習会なども行われる交流の場になります。

歴史・文化を見直す。幕末「白河口の戦い」は長岡と並ぶ戊辰の関ヶ原。ここで敗れ、薩長の世となる歴史的意義を持つ。しかも明治政府の大立者や、名のある新撰隊士らが対峙したこと。萩市に今も伝わる盆の「白河踊り」は、この戦いに由来すること。このように白河をめぐる歴史の掘り起こしや、再評価の研究交流の場になります。さらに図書館を舞台に新しく事業を起こしたり、経営を支援することも珍しくなくなったり、志を持つ人たちのサロンの場となったりします。

そして特に大切なことは、民主主義を支え、地域づくりを行う拠点になることです。政治が混迷する中、外交は経済は年金は大丈夫か。市の財政は、道路や学校の整備は、議会の動きはどうなっているのか。情報は新聞・テレビ、広報紙で茶の間に入っている。肝心なことは伝わらないことが多い。「国や市で言っていることは本当か、裏付けはあるのか」を客観的に分かる資料・情報を揃えておく場所が必要。それは図書館だと思えます。自らの頭と手足で確認したうえで、政策に同意したり批判したりすること。これが民主主義や自治には欠かせません。

図書館は、本の貸し出しのほかに、国や地域の課題を考え、答えを出すための資料・情報を収集し、公開することが大事な使命であると思います。

また、白河の祭りやスポーツ・映画等のイベント、町内会活動、企業情報を提供する。あるいは、大正・昭和から今日までの街並みや、提灯まつり、南湖の移り変わり。農村の風景や田植え・刈り取り作業の変化等、人の営みや自然を「地域の記憶」として保存することも必要。白河の地に、より深く根を張った活動が求められています。新図書館「りぶらん」が、知の交流や憩いの場となるよう、職員ともども努力してまいりますので、こぞつて足をお運びください。

白河出身の川瀬七緒さんが「よろずのこと」に気をつけよ」で今年の江戸川乱歩賞に輝きました。益に帰省された折、お会いしました。4年前突然書きたくなくなったこと。心象風景には白河の緑や小峰城があること。幼な心に見た不思議な祖母の祈祷念仏が作品の下敷きになっていること。また小さい頃、近くにあった図書館からどっさり本を借りて読みふけたそう。事実、作中にも図書館や小峰城が出てきます。読書と白河の歴史・文化が、溢れ出る才能の源になっているものと思えます。次回の長編ものの構想も固まりつつあるとのこと。楽しみです。

将来、新図書館をわが書齋のように活用し、川瀬さんのような作家が白河から生まれることを期待しましょう。